令和７年度

研究部門教育科目シラバス

農業研究科
畜産研究科
１年生

鹿児島県立農業大学校

<table>
<tr><td>授　業　科　目</td><td colspan="3">農業会計分析論Ⅰ</td><td>講師名</td><td colspan="3">岡村　雄輝
（鹿児島県立短期大学　准教授）</td></tr>
<tr><td>履　修　学　科</td><td>農業研究科
畜産研究科</td><td>履修
年次</td><td>１年</td><td>履修
時間</td><td>３０時限</td><td>単位</td><td>２単位</td></tr>
<tr><td>授　業　形　態</td><td colspan="7">講義・演習方式</td></tr>
<tr><td>テーマ及び概要</td><td colspan="7">効率的な農業経営，申告納税に不可欠となっている複式簿記の記帳，原価計算及び決算の方法について学び，農業簿記検定２級程度の記帳技術を養う。</td></tr>
<tr><td>使　用　教　材

①テキスト･教材
②参考文献</td><td colspan="7">①　テキスト・教材
ア）　テキスト
農業簿記検定教科書２級
イ）　ワークブック
農業簿記検定問題集２級
ウ）　補助教材
農業簿記検定過去問題集２級

②　参考文献　なし</td></tr>
<tr><td rowspan="5">授業スケジュール</td><td colspan="7">本講義では，農業経営における原価計算・管理会計について学習する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">１～７時限</td><td colspan="5">農業簿記の基礎
農業簿記の記帳体系</td></tr>
<tr><td colspan="2">８～１５時限</td><td colspan="5">材料費会計，労務費会計，経費会計
製造間接費会計，部門別計算</td></tr>
<tr><td colspan="2">１６～２２時限</td><td colspan="5">製品別計算
（単純個別原価計算，単純総合原価計算，完成品総合原価計算と完成品単位原価の計算，期末仕掛品原価の計算，減損及び仕損,工程別総合原価計算）</td></tr>
<tr><td colspan="2">２３～３０時限</td><td colspan="5">農企業の財務諸表，標準原価計算（製品原価計算，原価差異計算　と原因分析），原価・生産規模・利益関係の分析，直接原価計算</td></tr>
<tr><td>成　績　評　価</td><td colspan="7">試験，受講態度　　計１００点
優：80 以上～ 100，良：70 以上～ 80 未満，可：60 以上～ 70 未満，不可：60 未満</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>授　業　科　目</td><td colspan="3">農業会計分析論Ⅱ</td><td>講師名</td><td colspan="3">岡村　雄輝
（鹿児島県立短期大学　准教授）</td></tr>
<tr><td>履　修　学　科</td><td>農業研究科
畜産研究科</td><td>履修
年次</td><td>１年</td><td>履修
時間</td><td>３０時限</td><td>単位</td><td>２単位</td></tr>
<tr><td>授　業　形　態</td><td colspan="7">講義・演習形式</td></tr>
<tr><td>テーマ及び概要</td><td colspan="7">効率的な農業経営，申告納税に必要となっている複式簿記の記帳，原価計算及び決算の方法について学び，農業簿記検定２級程度の記帳技術を養う。</td></tr>
<tr><td>使　用　教　材

①テキスト･教材
②参考文献</td><td colspan="7">①　テキスト・教材
ア）　テキスト
農業簿記検定教科書２級
イ）　ワークブック
農業簿記検定問題集２級
ウ）　補助教材
農業簿記検定過去問題集２級

②　参考文献　なし</td></tr>
<tr><td rowspan="6">授業スケジュール</td><td colspan="7">本講義では，複式簿記会計の基本原理について学習する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">１～７時限</td><td colspan="5">簿記一巡の手引き，伝票会計</td></tr>
<tr><td colspan="2">８～１５時限</td><td colspan="5">固定資産，繰延資産
（有形固定資産，リース会計，無形固定資産，繰延資産，固定資産の処分，圧縮記帳）</td></tr>
<tr><td colspan="2">１６～２２時限</td><td colspan="5">引当金，準備金，株式会社（株式会社の意義，株式発行，剰余金配当等，法人税等）</td></tr>
<tr><td colspan="2">２３～２６時限</td><td colspan="5">農事組合法人（農事組合法人の意義，出資の払込，剰余金の処分），交付金・補填金，消費税，決算（財務諸表）</td></tr>
<tr><td colspan="2">２７～３０時限</td><td colspan="5">農業簿記２級模擬試験</td></tr>
<tr><td>成　績　評　価</td><td colspan="7">試験，受講態度　　計１００点
優：80 以上～ 100，良：70 以上～ 80 未満，可：60 以上～ 70 未満，不可：60 未満</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="3">農業経営計画論Ⅰ</td><td>講師名</td><td colspan="3">農大農業研究科教授，非常勤教授
農大畜産研究科教授，非常勤教授</td></tr>
<tr><td>履修学科</td><td>農業研究科
畜産研究科</td><td>履修
年次</td><td>１年</td><td>履修
時間</td><td>３０時限</td><td>単　位</td><td>２単位</td></tr>
<tr><td>授業形態</td><td colspan="7">講義・演習方式</td></tr>
<tr><td>テーマ及び
達成目標</td><td colspan="7">経営管理の重要性と農業経営の計数把握の方法を理解させ，経営設計手法を学ばせる。</td></tr>
<tr><td>使用教材
①テキスト・教材
②参考文献</td><td colspan="7">①「やさしい経営講座　経営管理編」
Ⅰ　農業経営の基礎
Ⅱ　農業経営の分析を考える
Ⅳ　経営の組立・改善
Ⅴ　経営分析力を身につけよう
・生産費を考える（１）～（５）
・生産費低減と規模拡大
その他，　講義内容に応じて各種プリント，演習教材を準備する。
②参考文献　　無し</td></tr>
<tr><td>授　　業
スケジュール</td><td colspan="7">１～６時限　　農業経営の基礎
貸借対照表と損益計算書

７～10時限　　農業経営の分析を考える

11～16時限　　生産費を考える

17～22時限　　経営の組立・改善

23～26時限　　損益分岐点

27～30時限　　収益性目標標準の考え方と利用
計画作成の手法（営農設計ソフト等利用）</td></tr>
<tr><td>成績評価</td><td colspan="7">筆記試験８０点＋受講態度２０点　　計１００点
優：80以上～100，良：70以上～80未満，可：60以上～70未満，不可：60未満</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="3">農業法人実務Ⅰ</td><td>講師名</td><td colspan="3">秋山 邦裕
（鹿児島大学名誉教授）
農大農業研究科教授，非常勤教授
農大畜産研究科教授，非常勤教授</td></tr>
<tr><td>履修学科</td><td>農業研究科
畜産研究科</td><td>履修
年次</td><td>１年</td><td>履修
時間</td><td>３０時限</td><td>単　位</td><td>２単位</td></tr>
<tr><td>授業形態</td><td colspan="7">講義・演習方式</td></tr>
<tr><td>テーマ及び
達成目標</td><td colspan="7">法人の形態，設立の意義，設立手続き及び企業経営の基本を理解する。</td></tr>
<tr><td>使用教材
①テキスト・教材
②参考文献</td><td colspan="7">①テキスト・教材
「農業法人を設立しよう」「Ｑ＆Ａ農業法人化マニュアル」「農業経営を法人化しませんか！」（鹿児島県担い手・地域営農対策協議会）（農業会議から）

②参考文献</td></tr>
<tr><td>授　　業
スケジュール</td><td colspan="7">１～２６時限（秋山）
（１）オリエンテーション
（２）「農業法人を設立しよう」テキスト
（３）「Ｑ＆Ａ農業法人化マニュアル」テキスト
（４）「農業経営を法人化しませんか！」テキスト

２７～３０時限
まとめ</td></tr>
<tr><td>成績評価</td><td colspan="7">・試験（７０点），態度（３０点）　　合計１００点
優：80以上～100，良：70以上～80未満，可：60以上～70未満，不可：60未満</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="3">マーケティングⅠ</td><td>講師名</td><td colspan="3">鹿大学農学部教授：豊　智行
農大農業研究科教授，非常勤教授
農大畜産研究科教授，非常勤教授</td></tr>
<tr><td>履修学科</td><td>農業研究科
畜産研究科</td><td>履修
年次</td><td>１年</td><td>履修
時間</td><td>３０時限</td><td>単　位</td><td>２単位</td></tr>
<tr><td>授業形態</td><td colspan="7">講義・演習方式，現地研修</td></tr>
<tr><td>テーマ及び
達成目標</td><td colspan="7">我が国の農畜産物等の需給動向・流通構造の理解を深め，鹿児島県の農畜産物流通等の現状及び実態を理解する。
また，マーケティングの基本となる農畜産物の売れる仕組みづくり（１品種選定，栽培技術，加工技術，２労働力，３コスト，４売り方など）の現地事例と手法を学ぶとともに，マーケティングを元に，生産・加工・販売（流通）の複合化である６次産業化の取り組みについても学ぶ。</td></tr>
<tr><td>使用教材
①テキスト・教材
②参考文献</td><td colspan="7">各種資料の配布
パソコンプロジェクターの使用</td></tr>
<tr><td rowspan="2">授　　業
スケジュール</td><td colspan="7">１～１２時限　講義（豊教授）
１　マーケットの現状と傾向
２　農産物等の流通の現状と有利販売・方法等
３　農産物の６次産業化商品等の位置づけ及びそのマーケティング</td></tr>
<tr><td colspan="7">１３～３０時限　現地研修
農産物生産，食品加工，販売を行う農企業等</td></tr>
<tr><td>成績評価</td><td colspan="7">講義：レポート等（１００点）
レポート（８０点），態度（２０点）
講義，現地研修評価の平均で評価する。　計１００点
優：80以上～100，良：70以上～80未満，可：60以上～70未満，不可：60未満</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="3">経営計画演習</td><td>講師名</td><td colspan="3">農大農業研究科教授，非常勤教授
農大畜産研究科教授，非常勤教授</td></tr>
<tr><td>履修学科</td><td>農業研究科
畜産研究科</td><td>履修年次</td><td>１年</td><td>履修時間</td><td>45時限</td><td>単　位</td><td>３単位</td></tr>
<tr><td>授業形態</td><td colspan="7">講義・演習方式</td></tr>
<tr><td>テーマ及び
達成目標</td><td colspan="7">自家経営や農大養成部門の経営プロジェクト等の実績をもとに，概ね５年後を目標とする経営計画を作成する。</td></tr>
<tr><td>使用教材
①テキスト・教材
②参考文献</td><td colspan="7">演習内容に応じて各種プリント，教材を準備する。
・「絶対にギブアップしたくない人のための成功する農業」など書籍及び参考資料
・パソコン，電卓
・その他（学生のレベルに応じて必要なテキスト及び資料等）</td></tr>
<tr><td>授　　業
スケジュール</td><td colspan="7">１～８時限（講義）経営技術診断の方法 ，計画作成の手順と手法

９～15時限（演習）具体的な設計手法

13～16時限（演習）所得，売上目標，品目規模等設計条件の決定

17～38時限（演習）経営ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ及び経営計画書の作成（レポート提出）

39～45時限　経営計画発表</td></tr>
<tr><td>成績評価</td><td colspan="7">演習取組態度（２０点）及び演習レポート・発表（８０点）で評価する。
優：80以上～100，良：70以上～80未満，可：60以上～70未満，不可：60未満</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>授　業　科　目</td><td colspan="3">専攻ゼミ
（農業情報演習）</td><td>講師名</td><td colspan="3">農大農業研究科教授，非常勤教授
農大畜産研究科教授，非常勤教授</td></tr>
<tr><td>履　修　学　科</td><td>農業研究科
畜産研究科</td><td>履修
年次</td><td>１年</td><td>履修
時間</td><td>15時限</td><td>単　位</td><td>１単位</td></tr>
<tr><td>授　業　形　態</td><td colspan="7">演習方式</td></tr>
<tr><td>テーマ及び
達成目標</td><td colspan="7">農業に関する情報収集・処理に必要な，インターネットによる情報収集の仕方や，その情報の整理や発信に必要なワープロソフトや表計算ソフトの利用・使い方について学習する。</td></tr>
<tr><td>使用教材
①テキスト・教材
②参考文献</td><td colspan="7">・演習内容に応じて各種プリント，演習教材を準備する。
・エクセル基礎，エクセル関数に関するテキスト
・その他（学生のレベルに応じて資料作成）
エクセル基礎，エクセル関数に関するテキスト</td></tr>
<tr><td>授　　業
スケジュール</td><td colspan="7">１～３時限　インターネットによる情報収集について

４～８時限　ワープロソフトの使い方

９～15時限　表計算ソフトの使い方</td></tr>
<tr><td>成　績　評　価</td><td colspan="7">演習レポート提出８０点，出席態度２０点

合計１００点×１０％＝専攻ゼミ評価１０点

優：80以上～100，良：70以上～80未満，可：60以上～70未満，不可：60未満</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>授　業　科　目
（運用科目）</td><td colspan="3">専攻ゼミ
（農業経営管理演習）</td><td>講師名</td><td colspan="3">農業専門普及指導員</td></tr>
<tr><td>履　修　学　科</td><td>農業研究科
畜産研究科</td><td>履修
年次</td><td>１年</td><td>履修
時間</td><td>15時限</td><td>単位</td><td>１単位</td></tr>
<tr><td>授　業　形　態</td><td colspan="7">講義・演習方式</td></tr>
<tr><td>テーマ
及び達成目標</td><td colspan="7">農業経営における農家生活設計、労働管理等について学ぶ。</td></tr>
<tr><td>使用教材
①テキスト・教材
②参考文献</td><td colspan="7">・「担い手農家の家計費標準」
・「長期生活設計システム２１世紀版」
・「労働力調整による魅力ある農業経営の実現へ向けた支援の手引き」
・「家族経営協定推進テキスト」
・「労働設計関連資料」</td></tr>
<tr><td>授　業
スケジュール</td><td colspan="7">１～８時限　農家経営改善を進めるための手順
・農家経営のしくみ
・所得目標額の算出
・家計診断の手法
・予算の立て方
・担い手農家の家計簿記
・長期生活設計の必要性
・長期生活設計演習
・家族経営協定の意義と実際

９～15時限　農業経営における労働管理
・農業労働の特徴と改善の視点について
・安全・快適・効率的な農作業の取組について
・農作業事故の実態について
・労働設計の演習</td></tr>
<tr><td>成　績　評　価</td><td colspan="7">レポート・演習（１００点）

優：80以上～100，良：70以上～80未満，可：60以上～70未満，不可：60未満</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>授　業　科　目</td><td colspan="3">専攻ゼミ
（統計処理演習）</td><td>講師名</td><td colspan="3">農大農業研究科教授，非常勤教授
農大畜産研究科教授，非常勤教授</td></tr>
<tr><td>履　修　学　科</td><td>農業研究科
畜産研究科</td><td>履修
年次</td><td>１年</td><td>履修
時間</td><td>15時限</td><td>単　位</td><td>１単位</td></tr>
<tr><td>授　業　形　態</td><td colspan="7">講義・演習方式</td></tr>
<tr><td>テーマ及び
達成目標</td><td colspan="7">派遣研修等における調査研究で得られるデータの整理・分析に統計解析がどのように活用できるのか，基本的な知識の理解と利用できる処理の手法について学習する。</td></tr>
<tr><td>使用教材
①テキスト・教材
②参考文献</td><td colspan="7">関数の使い方やデータ分析などエクセルを理解できる書籍
データ演習用資料及び統計処理方法等講師の作成資料配布
演習教材
・パソコン室（パソコン，プロジェクター使用）
学生のレベルに応じて各種プリント，演習教材を準備する。</td></tr>
<tr><td>授　　業
スケジュール</td><td colspan="7">第１～８時限
データの整理・分析に必要な基本的な統計分析ができるように，統計の理論及び手法を習得する。
基礎統計量　代表値（平均値，中央値等）
散布度（分散，標準偏差等）
相関と相関係数の求め方「回帰分析」（単回帰・重回帰）
データの推定と仮説の検定（ｔ分布），
相関分析，一元配置法，多重比較法，回帰分析損益分岐点等
習得した統計の理論及び手法からパソコンを活用して統計処理技術を 行い，解析できるようにする。
第９～15時限　統計ソフトの活用方法（パソコン演習）
パソコンを使い，統計処理方法等を学ぶ
(1)基礎統計量・相関分析
(2)一元配置法
(3)多重比較法
(4)回帰分析　　など</td></tr>
<tr><td>成　績　評　価</td><td colspan="7">レポート８０点　受講態度２０点　合計１００点
１００点×１０％＝専攻ゼミ評価１０点
優：80以上～100，良：70以上～80未満，可：60以上～70未満，不可：60未満</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>授　業　科　目</td><td colspan="3">専攻ゼミ
（研修・研究計画）</td><td>講師名</td><td colspan="3">農大農業研究科教授，非常勤教授
農大畜産研究科教授，非常勤教授</td></tr>
<tr><td>履　修　学　科</td><td>農業研究科
畜産研究科</td><td>履修
年次</td><td>１年</td><td>履修
時間</td><td>90時限</td><td>単位</td><td>２単位</td></tr>
<tr><td>授　業　形　態</td><td colspan="7">講義・演習方式</td></tr>
<tr><td>テーマ及び
達成目標</td><td colspan="7">派遣研修前に自家経営等の経営分析に基づき，経営課題整理，技術課題整理を行う。課題解決のための研究計画を作成する。「派遣研修全体計画」の中心に位置づけ，２年次「研究論文］としてまとめる。
課題解決のための試験場等派遣研修を含めた「派遣研修全体計画書」を作成する。</td></tr>
<tr><td>使用教材
①テキスト・教材
②参考文献</td><td colspan="7">「派遣研修実施要領」「派遣研修全体計画書・研究課題設計書作成要領］
「派遣研修心得」「試験研究機関における派遣研修運営要領」
「研究・研修計画発表会」実施計画案
講義内容に応じて各種プリント，演習教材を準備する。</td></tr>
<tr><td>授　　業
スケジュール</td><td colspan="7">第１～８時限 研究計画・派遣研修全体計画作成の目的・作成要領等

第９～45時限 研究計画の作成

第46～75時限 派遣研修全体計画書の作成

第76～90時限 研修・研究計画発表会</td></tr>
<tr><td>成　績　評　価</td><td colspan="7">派遣研修全体計画書（研究計画・派遣研修計画），ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ発表内容，態度等を総合評価　合計１００点
優：80以上～100，良：70以上～80未満，可：60以上～70未満，不可：60未満</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>授　業　科　目</td><td colspan="3">専攻ゼミ（派遣研修）</td><td>講師名</td><td colspan="3">派遣先(試験研究機関等)
農大農業研究科教授，非常勤教授
農大畜産研究科教授，非常勤教授</td></tr>
<tr><td>履　修　学　科</td><td>農業研究科
畜産研究科</td><td>履修
年次</td><td>１年</td><td>履修
時間</td><td>1,215時限</td><td>単　位</td><td>27単位</td></tr>
<tr><td>授　業　形　態</td><td colspan="7">講義・演習・実習・ゼミ方式</td></tr>
<tr><td>テーマ
及び達成目標</td><td colspan="7">自家経営等の経営・技術課題を整理し，派遣先において研究テーマを設定し，研究課題解決を行う。併せて，研究論文作成に必要なテーマに基づき，研究の手法・活用方法等について学習する。</td></tr>
<tr><td>使用教材
①テキスト・教材
②参考文献</td><td colspan="7">「派遣研修実施要領」「派遣研修全体計画書・研究課題設計書作成要領］
「派遣研修心得」「試験研究機関における派遣研修運営要領」
「研修日誌」「派遣研修報告書・研究論文作成要領］
講義内容に応じて各種プリント，演習教材を準備する。</td></tr>
<tr><td>授　　業
スケジュール</td><td colspan="7">第１～1215時限　派遣研修の実施
（１）試験場等研究機関，農業関連機関及び農業法人

（２）先進産地・農家事例調査

（３）流通調査（市場流通研修）

（４）その他</td></tr>
<tr><td>成　績　評　価</td><td colspan="7">派遣研修状況総合評価
（派遣研修評価票項目に基づく評価）　　計１００点
優：80以上～100，良：70以上～80未満，可：60以上～70未満，不可：60未満</td></tr>
</table>